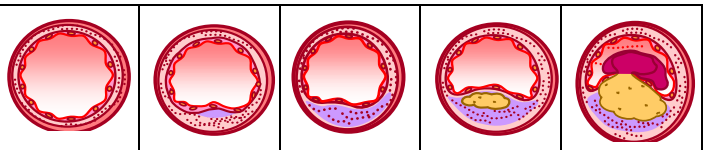
2022.5.29（再修正）

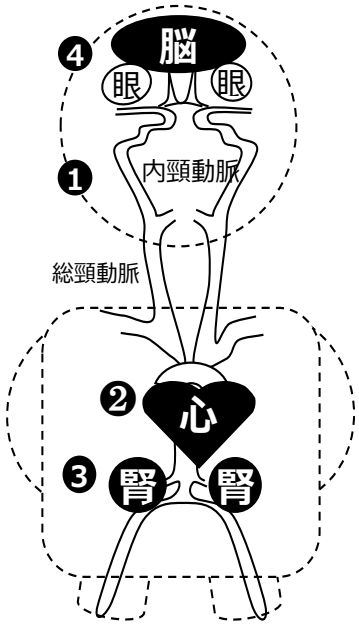
労災保険二次健康診断給付金制度とは

2001年に生まれた制度です。労災保険二次健康診断はメタボリックシンドローム該当者のうち、**血圧、血糖、脂質**の3項目すべてに異常があると心**血管疾患**のリスクが非常に高くなるため、一次健診でこれらのすべての項目に異常はあるが**「治療なし」**となった方が対象となります。（労災保険二次健康診断と同じ考えの、心血管疾患予防のための「メタボリックシンドロームの定義と診断基準」が、2005 年に日本内科学会など 8 学会で策定され、特定健診・保健指導が始まった経緯があります。）なぜ、労災二次健康診断が必要なのでしょうか？　それは、治療の必要のない値でも重なることで心血管疾患が自覚症状のないまま進行し、突然に冠動脈や脳血管の閉塞等を起し発症するからです。これにより労災認定される労災件数が年々増加しています。一次健康診断では動脈硬化の有無や進行の程度を確認することができないことから、心血管疾患を予防するには頚部エコー検査等の二次健康診断が必要になります。労災保険二次健康診断は国の給付金制度なので費用負担はありません。

労災二次健康診断は動脈硬化の有無や進行の程度を見るための検査

❶ 頚動脈エコー（心臓から頭に向かう太い血管内皮の状態を見る検査）

血管内皮の変化		 正常 → 肥厚 → プラーク → 狭窄 → 閉塞				
内膜中膜肥厚	右					
	左					
プラーク	右					
	左					
狭窄率	右					
	左					



❷ 負荷心電図又は心エコー（心臓の状態を詳しく見る検査）

異常なし	有所見あり（　　）

❸ 微量アルブミン尿検査　※（尿で腎臓の状態を見る検査）

正常	予備能力低下	腎機能障害
～29 mg/g	30～299 mg/g	300～mg/g

❹ 眼底検査（脳血管の動脈硬化の進行度を見る検査）

	正常	眼底狭窄・硬化	著明な狭窄	出血	
H（高血圧性変化）	0	1	2	3	4
S（動脈硬化性変化）	0	1	2	3	4

❶～❹以外の検査項目

・空腹時血中脂質検査

・空腹時血糖検査

・ヘモグロビン A1c（※）

※一次健康診断で検査している場合は二次健診では行わない。

※❸の微量アルブミン尿検査は一次健診で（±）または（+）となった人

一次健康診断（職場の定期健康診断等）の検査項目と

二次健康診断の対象基準

<table>
<tr><td colspan="3">一次健康診断</td><td>二次健康診断対象基準</td></tr>
<tr><td colspan="3">検査項目</td><td>以下のすべての検査項目に異常所見があると判断された場合</td></tr>
<tr><td colspan="2">BMI</td><td>身長は雇い入れ時に実施
その後は医師の判断で省略可
体重は必須</td><td>25 以上または</td></tr>
<tr><td colspan="2">腹囲</td><td>40 歳未満は医師の判断で省略可
（35 歳を除く）</td><td>男　85 ㎝以上
女　90 ㎝以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">血圧</td><td>必須</td><td>収縮期　130 ㎜/Hg
または
拡張期　85 ㎜/Hg</td></tr>
<tr><td rowspan="3">脂質</td><td>LDL コレステロール</td><td rowspan="3">40 歳未満は医師の判断で省略可
（35 歳を除く）</td><td>120mg/dl 以上または</td></tr>
<tr><td>HDL コレステロール</td><td>40 ㎎/dl 未満または</td></tr>
<tr><td>中性脂肪</td><td>150 ㎎/dl 以上</td></tr>
<tr><td rowspan="2">血糖</td><td>空腹時血糖</td><td rowspan="2">いずれかの項目</td><td>100 ㎎/dl 以上または</td></tr>
<tr><td>HbA1c</td><td>5.6 以上</td></tr>
</table>